



はじめに

ー3.0 テスラMR I 診断装置が入りましたー

平成12年に当院が開院したころから病診連携（当時）の重要性が取り沙汰されるようになり、当院でも平成15年に医療連携室が設置され力を入れて参りました。間もなく登録医制度が発足し、趣旨に賛同していただいた先生方からの登録が進んでおります。平成23年には地域医療情報システムOK I-netの運用開始となり、お陰さまで「地域医療支援病院」の指定を受けることができました。この様に連携事業が順調に進んでいるのも登録医の先生方はじめ関係各位のご協力の賜と感謝しております。

さて昨年の320列マルチスライスCTの導入に続きまして、この度3.0テスラのMR I 診断装置が導入されました。山形県では4番目、置賜地域では初めての導入です。3.0テスラMR Iでは、より精細な質の良い画像が描出されますので更なる診断能力の向上につながります。頭部・骨軟部はもちろんどの部位でも応用可能です。これまでの1.5テスラと合わせて2台での運用となりますので、待ち期間の短縮になると思われます。是非皆様のご利用をお願いいたします。

当院の運営方針の大きな柱であります「地域連携の推進」は、患者中心の医療の展開には重要な事ですので、登録医の先生方はもちろん、置賜地域の病院・診療所・医療福祉施設・医療関連事業所との連携も益々重要になってくると思われます。よろしくお願いたします。

平成25年4月

公立置賜総合病院
院長 渋間 久

